

令和3年度第10回江南区自治協議会【書面開催】 新焼却施設整備基本計画（案）に係る各委員からのご意見について

No	委員名	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	石井委員	防災拠点としての機能、備蓄機能について	備蓄の内容等具体例を記載してはどうか。	<p>具体的な機能や規模等については、今後、市の関連部局や区役所と検討していきます。</p> <p>なお、備蓄内容は、主なものとして、アルファ化米等の主食、保存水、携帯トイレ、おむつ、生理用品などが想定されます。</p>
2	長場委員	発電について	どのように売電されているのか、他にどのように有効活用されているのか説明して欲しい。	<p>廃棄物処理施設の焼却余熱でつくられる電力は再生可能エネルギー（バイオマスエネルギー）に位置付けられ、低炭素化の一翼を担います。</p> <p>現施設でつくられた電力の内、施設の稼働に必要な電力量を除き全て売電しています。売電先に関しては、地域新電力会社（新潟スワンエナジー株式会社）を介し、下水道処理施設や浄水場など市内20の公共施設に送電しており、「電力の地産地消」の枠組みの中で経費の削減を図っております。</p> <p>また、余熱利用に関しては、附属施設「田舟の里」への供給を継続し、また、その他の利用先は現時点では未定ですが、他都市の活用事例も参考に、地域特性を活かした活用の可能性も検討していきます。</p>

No	委員名	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
3	西脇委員	搬入スペースについて	年末など直接搬入が特に込み合う時期に使用できる臨時開設の待機スペースをもっと増やしてはどうか。	<p>直接搬入は年々増加傾向にあり、繁忙期には一時的に道路渋滞が生じ、周辺住民の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしております。</p> <p>現施設では、敷地内の駐車場部分に滞留スペースを設けることで、渋滞緩和に努めています。</p> <p>新施設では、敷地内に滞留スペースや荷降ろし場所の増設、ごみ収集車両と直接搬入車輛の動線分離などを計画しています。いただいたご意見も参考にしながら、安全かつスムーズにごみ搬入できるよう検討していきます。</p>
4	西脇委員	周辺道路について	亀田清掃センター西側の建設業者用地前の道路幅が狭く車のすれ違いができないので拡幅整備をしてほしい。	<p>周辺道路の整備については、舗装の劣化等を含めて、ご意見・ご要望をいただいております。引き続き区役所と連携して検討していきます。</p> <p>ごみ収集車両の通行ルートについては、道路幅の広い市道南6-79号線（新潟刑務所前道路）への集約化を図ることとし、令和4年から一部取り組んでいます。</p>

No	委員名	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
5	西脇委員	枯草について	<p>亀田清掃センター東側にある亀田一般廃棄物処理場には、枯草を無料で持ち込めるが、センターでは有料となっている。整備事業の機会に、連携してセンター持込で無料とにならないか。</p>	<p>市では、リサイクルを推進するため、平成20年の新ごみ減量制度の導入後、「ごみは有料・資源は無料」を原則としております。</p> <p>資源ごみである「枝葉・草」は集積場に出される場合は週1回の収集日を設定しておりますが、多量に出される際は、処理を委託する業者の回収拠点（市内3箇所）への持込みをお願いしております。</p>
6	田村委員	確認	<p>「豊栄、鎧潟は持込みごみ受け入れを継続」 「直接搬入車増による道路渋滞」は、いずれも住民が施設にごみを搬入することを指していますか。</p>	<p>ご理解のとおりです。表現の統一化を図ります。</p>
7	佐藤弘明委員	—	<p>人口減少に伴い2施設体制に賛成。近隣住民の安心・安全のための各種整備の必要に同意します。</p>	<p>引き続き、適正な廃棄物処理に努めていきます。</p>

No	委員名	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
8	小菅委員	余熱利用施設検討について	<p>現在、田舟の里及び舞平清掃センター附属休憩所の利用時間は午後5時までとなっている。</p> <p>多くの方に利用していただくため、開館時間を延ばすことはできないか。</p> <p>余熱を有効利用して多くの方が楽しく利用できる施設とほしい。</p>	<p>「田舟の里」につきましては、地域の方から継続のご要望をいただいております。</p> <p>同施設は、竣工から18年が経過しておりますが、今後も十分に使用可能であり、新施設の建設にも支障ないことから、現状のまま存続する計画としています。</p> <p>舞平清掃センター附属休憩所も含めた開館時間についてですが、時間の延長により、運営経費への影響が生じ、現在の低廉な料金設定の維持が難しくなるため、現状のままとなります。</p>
9	伊藤委員	建物外観について	<p>施設の機能上、建物外観が意匠デザインを考慮しない可能性があり得る。建物規模も大きくなり施設機能の負のイメージ化を妨げるため、外観イメージや煙突デザインは良く検討する必要があるのではないかと。</p> <p>余熱の発電利用は大変共感が持てる。</p>	<p>新施設の形態、意匠、色彩などについては、今後、設計の段階で決まってくると思いますが、新潟市景観計画の景観形成基準に基づき、周辺との調和を図れるよう検討していきます。</p> <p>また、煙突については、高さ60m以上の場合、航空法の規制により色彩や照明設置等の制約が生じ、景観にも影響があることから、環境への影響も考慮したうえで現施設と同じ59mに設定しています。</p>

令和3年度第10回江南区自治協議会【書面開催】 区ビジョン基本方針案に係る各委員からのご意見について

No	委員名	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	坂井委員	人が輝き文化が育まれるまち	「気軽にスポーツを楽しむ環境づくりを進めます。」で文章が終わっているが、歴史、伝統、文化よりもスポーツに重みづけがあるように感じる。「気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりなど、様々な個性が発揮でき、生涯にわたり人が輝くまちを目指します。」で文章が終わった方が良いのではないか。	ご意見を踏まえ、区の目指すすがたを「人が輝き文化が育まれ健やかに過ごせるまち」とするとともに「江南区が有する素晴らしい歴史や伝統を後世へ継承し、文化などに触れる機会を提供するとともに、気軽にスポーツを親しむ環境づくりを進めるなど、地元を誇りや愛着を持ち、多様な個性が発揮できる生涯にわたり人が輝くまちを目指します。」に変更。
2	西脇委員	区民が主役となる協働のまち	1つ目の区自治協議会、コミ協、自治会…各地区内の団体の協働と同時に各地区内、区内5地区でも連携の強化で協働力を高かまる、高める的な文章をプラスしてはどうか。	ご意見を踏まえ、「地域課題解決に向け、区自治協議会、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会をはじめ多様な主体とともに互いの強みを活かし、相互連携を深めることで、区民が主役となる協働のまちづくりを進めます。」に変更。
3	上村委員	人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち	写真は、もう少しささえあい活動か防災活動として分かりやすい物の方が良いのではないか。	肖像権などにより現在適切な写真がないことから、新たに写真を撮影し、変更します。

No	委員名	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
4	今井委員	豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち	「また、自然環境との共生を図り、未来の世代につなぐため、資源循環型社会の構築を目指した環境にやさしいまちづくりを推進します。」方針であればこちらの書き方はどうか。	ご指摘を踏まえ、「また、自然と共生した環境にやさしいまちを未来の世代につなぐため、資源循環型社会の実現を目指します。」に変更。
5	今井委員	豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち	今後、社会資本の維持管理がますます重要になると思うが、その点を記載してはどうか。また、現在の文章では高速道路インターチェンジや中央卸売市場を拡充するとも読めるがどうか。	ご指摘を踏まえ、「道路や公園などの社会資本を的確に整備・維持管理し、さらに有効活用するとともに、公共交通など人と物が移動しやすい環境形成を進めます。また、地域の課題解決や活性化につながる土地利用を促進し、持続的に発展するまちづくりを進めます。」に変更。
6	今井委員	人が輝き文化が育まれるまち	歴史、伝統といった文化を主にしている文章に、突然スポーツが入っていることに違和感を覚える。スポーツを文化活動の一つと位置付けるならば、あえて文字化しなくても良いのでは?と思う。 (スポーツを入れる必要性があるのであれば、前の文脈でスポーツも含めた方が良い。)	文化はスポーツの一部と捉えることもできるが、スポーツの文言も記載したいため、ご意見を踏まえ、区の目指すすがたを「人が輝き文化が育まれ健やかに過ごせるまち」とするとともに「江南区が有する素晴らしい歴史や伝統を後世へ継承し、文化などに触れる機会を提供するとともに、気軽にスポーツを親しむ環境づくりを進めるなど、地元で誇りや愛着を持ち、多様な個性が発揮できる生涯にわたり人が輝くまちを目指します。」に変更。

No	委員名	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
7	横木委員	人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち	様々な自然災害に備え～災害に強いまちづくりを進めます。 自らの安全は～交通安全・防犯意識の高い～。 それぞれ別の課題を一つの文章としているので修正が必要ではないか。	災害と交通安全・防犯は別の課題ではあるが、現在の計画でも「いつまでも安心して暮らせるまちづくり」としてひとつの項目としているため、ご意見を踏まえ「さまざまな自然災害に備え、自治会・町内会、自主防災組織などと連携し、区民一人ひとりが適切な行動がとれる災害に強いまちを目指すほか、区民、警察、関係団体などと連携し、交通安全・防犯意識の向上を図るなど、安心安全な地域づくりを進めます。」に変更。
8	横木委員	人が輝き文化が育まれるまち	江南区が有する～「いくとともに気軽にスポーツ～進めます。」前の文章から唐突に「スポーツ」の表現がでてくる。	ご意見を踏まえ、区の目指すすがたを「人が輝き文化が育まれ健やかに過ごせるまち」とするとともに「江南区が有する素晴らしい歴史や伝統を後世へ継承し、文化などに触れる機会を提供するとともに、気軽にスポーツを親しむ環境づくりを進めるなど、地元に誇りや愛着を持ち、多様な個性が発揮できる生涯にわたり人が輝くまちを目指します。」に変更。
9	遠藤委員	全体	「地域」の文言を多く使用しているが、それぞれが何を指しているかわかりにくい。	ご意見の通り「地域」の文言使用について整理しました。

No	委員名	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
10	遠藤委員	豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち	豊かな自然、都市機能のそれぞれの説明はあるが、二つの調和が取れたまちとは、どのようなものなのか記載した方がよい。	区の将来像に「緑と調和した、賑わいとやすらぎのあるまち」において、自然と都市の調和について示されているため、ご意見を踏まえ、目指す区のすがたを「自然環境と都市機能を活かした快適に暮らせるまち」に変更。
11	伊藤委員	全体	区ビジョン基本方針(案) 冊子イメージについて、デザインが従来スタイルで少し堅いイメージを感じる。区ビジョンは次世代を担う子供達にも理解、考えて欲しいと思い総合学習等でも使ってもらいたいと考える。そういった事を考慮し、もう少し子供達も興味を持ってもらえる様なデザインを心掛けて欲しい。	冊子イメージは、次期総合計画の冊子の一部となるため、変更できないが、今後作成する区ビジョンまちづくり計画の概要版については、総合学習等でも使えるようなデザインとしたい。

令和3年度第10回江南区自治協議会【書面開催】 各委員からのその他ご意見について

No	委員名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	齋藤委員	新型コロナウイルスの感染状況により集合開催は難しいと思いますが、資料だけで説明もなく意見を出すのは難しい。次年度以降、Web活用の開催を実現していただきたい。	ご指摘を踏まえ、全委員にアンケートを配布し、区自治協議会の運営方法について検討していきます。
2	今井委員	膨大な量の紙による資料の保管が、とても大変に感じております。紙の良さもありますが、今後、データでの資料送付もご検討いただきたい。(郵送とデータの希望など)手間的な部分はもちろん、セキュリティや管理上の課題もあると思われるので、可能な範囲で検討いただきたい。	ご指摘を踏まえ、全委員にアンケートを配布し、区自治協議会の運営方法について検討していきます。